

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1136		
科目名	教育学 2		
担当教員	宮島 健次		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 問題を探求し、状況を的確に把握・分析し、合理的な判断につなげられる知性</p> <p>■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 C1 倫理的思考・社会認識(30%) D1 文化的素養・市民的教養(40%) I1 理解力・分析力(30%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2 進行期 ~ 3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>■ 科目概要 人と社会の関係を教育の問題から考察していきます。学校教育が人の成長に今日ほど大きな影響を与えなかった時代にも焦点を当て、教育の原点に立ち返りつつ今日の教育問題と今後の学校教育のあり方を考察・研究していきます。受験勉強が中心であった学校教育の概念を根本的に覆し、教育を考える広い視点を追究します。特に教育の制度から現代日本の教育問題を考察していきます。 授業形態は講義形式により行います。なお対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■ キーワード 教育制度・学校制度・教育病理・新自由主義・グローバリズム・消費社会</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題 教育の本質、もっといえば現代教育システムの本質についての理解をマクロとミクロの視点からとらえていきましょう。</p> <p>■ 授業の目的 マクロの視点では、わが国の現代教育の問題点とその将来像について考えます。またミクロの視点では、その危機が制度設計によるレベルの問題ではなく、社会の変化にともなって「子どもたち」そのものの性質が変化しているレベルの問題であることを理解し、その問題にどう対応していったらいいのかを受講生一人一人が自らの「ことば」で「考える」ことを目的とします。</p> <p>■ 授業のポイント 私たちがこれまで自明とってきた教育・学校制度というものに「疑いのまなざし」をもって、そもそもなぜその制度ができたのか、そしてそのためにどのような問題がクリアされ、逆にどのような問題が引き起こされてしまったのか、という問いを立てることが第一のポイント</p>		

	<p>です。また、制度を運用するのは結局「人」であり、その「人」たちの行動が社会の変化や制度等によってどのように調整されていくのかといったことを理解することが二番目のポイントとなります。</p>										
<p>総合到達目標</p>	<p>■教育と社会との間にはどのような関係があり、相互にどのように影響を与え合っているのか説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における教職についての問題点を説明できる。(第2回) ・学校制度および社会に対するテストの問題点を説明できる。(第3回) ・現代社会における格差や多様性の問題について、その現状と問題点について説明できる。(第4～8回) <p>■現在および将来のわが国の教育システムの問題点について考察できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀における教育の問題点について、その背景について説明できる。(第9～11回) ・新自由主義・グローバリズムの問題点について説明できる。(第12～13回) ・現代の学校教育における危機の本質に対して、どのように対応したらいいのか考え、判断できる。(第14～15回) 										
<p>成績評価方法</p>	<p>■成績評価手段 授業参加度(リアクション・ペーパーを含む)(25%)、第1回レポート(35%)、第2回レポート(40%)</p> <p>■評価の観点 以下の4つの観点を基に総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①指定された分量を書いているか。 ②文章を書くルールにのっとっているか。 ③授業内容やテキストの内容が簡潔にまとめられているか。 ④授業内容やテキストの内容にとどまらず、自分の考えを論理だてて、具体例を用いてわかりやすく示しているか。 <p>■フィードバック方法 授業時間中に解説を行います。</p>										
<p>履修条件</p>	<p>なし</p>										
<p>履修上の注意点</p>	<p>なし</p>										
<p>授業内容</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1142 517 1189">回</th> <th data-bbox="517 1142 1497 1189">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1189 517 1402">1</td> <td data-bbox="517 1189 1497 1402"> ①授業テーマ 第1部 マクロの教育学～ガイダンス ②授業概要 マクロ的視点から現代の学校制度について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(60分) シラバスを精読しておくこと。 ④復習(180分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1402 517 1641">2</td> <td data-bbox="517 1402 1497 1641"> ①授業テーマ テキスト第5章「教職の専門性」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、教職の専門性について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1641 517 1881">3</td> <td data-bbox="517 1641 1497 1881"> ①授業テーマ テキスト第6章「テストと学力」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、テストと学力の関係について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1881 517 2121">4</td> <td data-bbox="517 1881 1497 2121"> ①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読① ②授業概要 テキストの内容を通じて、格差の現状について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。 </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ 第1部 マクロの教育学～ガイダンス ②授業概要 マクロ的視点から現代の学校制度について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(60分) シラバスを精読しておくこと。 ④復習(180分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。	2	①授業テーマ テキスト第5章「教職の専門性」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、教職の専門性について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。	3	①授業テーマ テキスト第6章「テストと学力」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、テストと学力の関係について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。	4	①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読① ②授業概要 テキストの内容を通じて、格差の現状について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。
回	内容										
1	①授業テーマ 第1部 マクロの教育学～ガイダンス ②授業概要 マクロ的視点から現代の学校制度について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(60分) シラバスを精読しておくこと。 ④復習(180分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。										
2	①授業テーマ テキスト第5章「教職の専門性」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、教職の専門性について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。										
3	①授業テーマ テキスト第6章「テストと学力」の精読 ②授業概要 テキストの内容を通じて、テストと学力の関係について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。										
4	①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読① ②授業概要 テキストの内容を通じて、格差の現状について理解を深めていく。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。 ④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。										

5	<p>①授業テーマ テキスト第7章「格差と教育」の精読②</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、格差は正のツールとしての教育の可能性について理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
6	<p>①授業テーマ テキスト第8章「多様なニーズ」の精読①</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、多様化する学び手にいかに対応するかについて理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
7	<p>①授業テーマ テキスト第8章「多様なニーズ」の精読②</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、多様化する学び手にいかに対応するかについて理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。中間レポート課題を作成すること。</p>
8	<p>①授業テーマ テキスト終章「未来の教育」の精読</p> <p>②授業概要 テキストの内容を通じて、未来の教育はどうあるべきかについて理解を深めていく。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
9	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(1) 学びから逃走する子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第1回目は現代の学び手の学習態度について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
10	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(2) オレ様化する子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第2回目は現代の学び手の生活態度について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
11	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(3) 現代社会と子どもたち①</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第3回目は現代の学び手に影響を与えている社会、特に消費社会について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
12	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(4) 現代社会と子どもたち②</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第4回目は現代の学び手に影響を与えている社会、特にグローバリズムについて理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(120分) 前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習(120分) リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
13	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学(5) 消費主体としての子どもたち</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第5回目は現代社会から影響を受けた子どもたちが身につけた行動様式について理解する。(C1・</p>

	<p>D1・I1)</p> <p>③予習（120分）前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習（120分）リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
14	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学（6）消費マインドにいかに対峙するか①</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第6回目は現代の学び手にどのように対峙していけばいいのか、特に「プロ」の教え手と「素人」の実践から学べることについて理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習（120分）前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習（120分）リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。</p>
15	<p>①授業テーマ 第2部 21世紀の教育学（7）消費マインドにいかに対峙するか②</p> <p>②授業概要 ミクロ的視点から21世紀の教育について理解を深めていく。第7回目は現代の学び手にどのように対峙していけばいいのか、ある実践を通してこれまでの思考をまとめる。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習（120分）前回の授業内容およびリアクション・ペーパーを当事者意識を持ってふりかえること。</p> <p>④復習（120分）リアクション・ペーパーの各問いに答えるとともに、テキストの内容および授業内容をこれまでの自分の経験に照応させること。最終レポートを執筆すること。</p>
関連科目	教育学 I（RMGT/SSCS 1135）
教科書	北野秋男・宮島健次他編『教育学へのアプローチ』啓明出版、2017
参考書・参考URL	適宜授業中に指示します。
連絡先・オフィスアワー	<p>〈連絡先〉 開講時に告知します。</p> <p>〈オフィスアワー〉 授業終了時、あるいはメール等によって対応します。</p>
研究比率	

